

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第114回

【学生の日】

ケヴィン・リンチは著書『都市のイメージ』で、結節点(ノード)という考え方を示した。結節点は人や物が集まる所で、パス(道・通り)、エッジ(縁・境界)、ディストリクト(地域・特徴ある領域)、ランドマーク(目印・焦点)を合わせた5つの要素で都市の特徴を把握し、説明した。都市の分かりやすさを5つの要素で説明する考え方は、その後の都市計画やまちづくりに大きな影響を与えた。



岡部 将史
不動産学部3年

結節点の代表的なものは鉄道の駅

渋谷駅の再開発

である。電車や汽車に乗って人や物が集まると同時に、電車や汽車に乗って出かけるために多くの人や車が集まる。かつて駅は都市の表玄関であり顔であり、また最もにぎやかな場所でもあった。しかし最近では様子が随分変わった。地方都市に行くのと、人や車は郊外に新設されたショッピングモールに集まるようになり、駅前商店がさびびれている。県庁所在地であっても例外ではなく、都

市イメージは様変わりしている。これに対して、東京都心部の鉄道駅は、ますます結節機能を高めている。昨年開業100年を迎えた東京駅の駅舎建て替えは、その代表的なものである。日本の顔としてこれからも結節点であり続けることは間違いない。

東京駅は多くのJR線の発着がある一方、地下鉄は丸の内線だけであ

鉄道高架橋をお洒落にしよう

ベルリン中央駅よりもっと複雑な駅が日本にある。渋谷駅だ。JR、東京地下鉄、東急、京王の計8つの



再開発が進む渋谷駅前で見立つ地下鉄高架橋

市イメージは様変わりしている。これに対して、東京都心部の鉄道駅は、ますます結節機能を高めている。昨年開業100年を迎えた東京駅の駅舎建て替えは、その代表的なものである。日本の顔としてこれからも結節点であり続けることは間違いない。

東京駅は多くのJR線の発着がある一方、地下鉄は丸の内線だけであ

さらにお洒落にすることを提案したい。

【教員のコメント】
駅の空間が進化している。駅で雨を避けるのは、ホーム上にわずかにかけられた石綿成型版であったが、今は大屋根をかけ、空港ビルの吹き抜けのような空間をもつ駅もある。車社会と共存し、空輸時代と競つ工夫に不動産開発のヒントがある。